

リレートーク
relay talk

党・市議会議員
南畑 さち代



産廃事業者の説明会で 「山里は命と水を守る」と住民 根来断層の古い資料に さらに不信感が…

産廃最終処分場建設問題で、1月11日、事業者のフォーシーズン・ファクトリーから和歌山市に計画変更の説明がありました。当初の計画面積は18ha、容積は290万m³でしたが、それぞれ「10ha、230万m³とし、南谷池および東側を埋め立てない。」等の内容です。

2月5日に山口連合自治会主催で開かれた住民説明会（204名の参加）に、事業者が出席し、当初からの計画と今年1月の計画変更についても説明がありました。

多くの住民の皆さんから「山の木は命を守り、水を守っています。木を切らないでほしい」「計画予定地には根来断層があり、現在は活動の停滞期と資料にあるが、いつ、どこの誰が言うてるんか。近い将来、地震が起きるだろうと予測している知事や市長の言うてることと違う」等の質問や意見が相次ぎました。「資料は1996年のもの」との事業者の答えに「そんな古い資料は参考にならない。地震が起きたらどうするのか」など一層不信感が沸いてくるとの感想がありました。

2月24日から2月議会が始まります。事業者の計画変更により新たな問題も出てきました。気を引き締めて取り組む決意です。



山口地区では民家や農家の倉庫などに、このような看板があちこちに立てられています

2月10日 早朝宣伝、会議など
11日 ブロック会議
12日 自交総連総会、地域訪問
13日 調査
14日 調査
15日 県議団会議
16日 無料生活相談

のり子の週間予定



県社保協が知事に要請

介護保険制度の充実めざし

県社会保険推進協議会は各市町村に対し、第5期介護保険事業についてのアンケート調査を行っています。その調査結果にもとづき介護保険制度の充実のために3点にわたって8日、知事に要請しました。私も同席しました。（写真左）

要請書は福祉保健部長に手渡され介護現場で働くみなさんからは切実な訴えがありました。私も実母や義父母の介護問題に直面しています。何よりも高齢者のみなさんが笑顔で過ごせるよう議会でがんばります。

2月22日から定例議会が開催されます。今議会はいっせいで選挙後、初の当初予算を審議する議会です。国政での悪政の暴走のなかでの議会となります。このようなもとで、県民のいのちやくらしを守るための地方自治のあり方が問われます。

共産党県議団は、あらためて地方自治とは何かという原点に立って2月定例会にのぞみたいと思います。地方自治法では「住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする」と地方自治体の役割を規定し、地方自治体が「自らの判断と責任」で自主的に行政が行えます。

このような立場に立つ予算編成になっているか、みなさんの切実な要求がどのように盛り込まれているのか、しっかりと検証して行きたいと思えます。

22日から「予算議会」です

地方自治の原点に立ち奮闘

「消費税大増税ストップ！社会保険充実、財政危機打開へ」

日本共産党が提言を発表

2月8日付け日刊「赤旗」で全文掲載

読者の「あったか通信」投稿を

毎月1回、2面掲載の読者の「あったか通信」へ気軽に投稿をお願いします。あなたのひと言や、さまざまな情報、絵手紙、写真、俳句、短歌、川柳などなんでも結構です。よろしくネ。（編集室）